

2013FIM世界耐久選手権シリーズ第2戦
“コカ・コーラゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース第36回大会
三重県・鈴鹿サーキット
7月26日(金)公式予選 天候:うす曇 路面:ドライ
観客動員数:11,000人

Team Release

予選9番手でトップ10トライアルに進出!

山口辰也、伊藤真一、渡辺一馬という強力な布陣で臨むTOHO Racing with MORIWAKIの2013年鈴鹿8耐がいよいよ始まった。7月26日(金)は、公式予選が行われ上位10番手までが、参加できるトップ10トライアル進出を目指した。

曇り空で始まったフリー走行。徐々に雲が薄くなり、雲間から日射しが降り注ぐと気温も路面温度も上がっていく。1時間のフリー走行でマシンの状態や足回りのセットアップを確認。第1ライダーの山口から公式予選1回目のタイムアタックに入っていく。ここで山口は、2分09秒132をマークし、9番手につける。続いて行われた第2ライダーのセッションでは、伊藤が2分10秒158と自己ベストタイムを更新する。第3ライダーの渡辺も2分10秒517と好タイムをマークする。

予選1回目を終えた時点で、3人のライダーとメカニックが話し合い、足回りのセットを変更。タイヤもソフト目をチョイスし、さらなるタイムアップを狙って臨む。しかし、バランスが崩れてしまい3人とも1回目のタイムを更新することができずに予選が終わってしまう。しかし、決勝に向けては、この時点で問題が出たことはプラスと考えることができるだろう。予選総合では、9番手となり、明日(7月27日)に行われるトップ10トライアル進出を決めた。

また総監督である福間勇二は、国内ライセンスライダーの祭典である鈴鹿4時間耐久ロードレースに参戦。ペアの大田孝志は、学生時代にバリバリ伝説を読み憧れの鈴鹿4耐の舞台に立った。参戦2年目となる福間は、自己ベストを大幅に更新。52番手グリッドからスタートすることになった。



第1ライダー 山口辰也

「足回りに問題を抱えていて思うようにタイムを詰めることができなかったのが悔しいですね。それでも何とかトップ10トライアルを走れることになってよかったです。ネガとなっている部分を解決して、サスペンションをもう少し詰めていければ安定して走ることができると思います」

第2ライダー 伊藤真一

「レースウイークに入ってからコンディションに、マシンを合わせ切れていないのか、2分10秒を切ることができないのは、情けないですね。それでも山口選手がしっかりチームベストを出してくれて、トップ10トライアルに出ることができるので、そこでいい走りを見せられるようにしたいですね」

第3ライダー 渡辺一馬

「いろいろ試して、いいところ悪いところが出ています。予選1回目の状態を、もう少し詰めていければ2分10秒台でラップできると思いましたが、予選2回目でもいい方向に行かずタイムを上げられませんでした。ただ、前とのタイム差は少ないですし、チーム一丸となつていい状態にしてレースに臨みたいですね」

監督 齊藤博士

「今日は、細かいトラブルが出てしまい、その対策に追われましたが、そのトラブルの種をなくしていきました。問題が出尽くしたと思うので、決勝に向けては、いい流れになるでしょう。明日のトップ10トライアルは、守るのではなくチャレンジしていきます」

このリリースに関するお問い合わせは下記まで
株式会社TOHO 野口佐智代
E-Mail:noguchi@tohoracing.jp
URL:http://tohoracing.jp/

〒739-0024 広島県東広島市西条町御園宇2694
tel (082)493-7895
fax(082)493-7894